

事前評価チェックシート

計画の名称： 熊本県における住環境の安全性の向上（防災・安全）（第4期）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 計画の目標が基本方針と適合している。	
I. 目標の妥当性 地域の住宅ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	
I. 目標の妥当性 地域の住宅政策上の課題を的確に踏まえた目標となっている。	
I. 目標の妥当性 関連する各種計画（住生活基本計画等）との整合性が確保されている。	
I. 目標の妥当性 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。	
I. 目標の妥当性 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	
II. 計画の効果・効率性 事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が得られることが確認されている。	
II. 計画の効果・効率性 事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	
II. 計画の効果・効率性 事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	
II. 計画の効果・効率性 地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。	
III. 計画の実現可能性 事業熟度が十分である。	
III. 計画の実現可能性 計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	
III. 計画の実現可能性 地域住宅計画を公表することとしている。	
III. 計画の実現可能性 地域住宅協議会等、関係地方公共団体等の意見調整の場が設けられている。	